

# 近畿能開大応用課程説明会

専門課程1年生を対象に、近畿職業能力開発大学校応用課程説明会を実施しました。例年は近畿能開大を訪問し、施設設備見学・体験実習・先輩との懇談等行っておりましたが、今年度はコロナ対策として大人数での移動を避けるため、科ごとに日程を分け、近畿能開大から先生をお招きしての実施となりました。

専門課程と応用課程の授業の違い等、具体的に説明していただき、進路選択の参考として応用課程について理解を深めることができました。



## 専門課程と応用課程の役割

専門課程が、生産などに対応できる技能・技術と適切な判断能力をもった生産ラインのリーダー（実践技術者）の育成を目的にしているのに対し、応用課程では、新製品の開発、生産工程の構築などに対応できる、生産技術・生産管理部門のリーダーの育成を目的としています。

応用課程の授業の特徴は、実際にものづくりの現場で働くことを想定した、グループ方式による課題学習です。専門課程で習得した技術・技能・知識を基礎に、課題学習を通じて自分で考える力を身につけ ★問題解決能力 ★企画開発能力 ★コミュニケーション能力 ★プレゼンテーション能力を培います。